

## 川崎市立看護大学大学院の設置認可が「可」と答申されました

令和 6 年 3 月に文部科学大臣宛て申請した川崎市立看護大学大学院の設置について、令和 6 年 8 月 28 日付けで文部科学大臣の諮問機関である大学設置・学校法人審議会大学設置分科会から、設置認可を「可」とする旨の答申がなされました。なお、近日中に、この答申に基づき文部科学大臣より正式に認可されることとなりますが、引き続き、令和 7 年 4 月の開学に向けて、準備を進めてまいります。

### ●川崎市立看護大学の概要

大学の名称	川崎市立看護大学大学院 －Kawasaki City College of Nursing Graduate school－
設置者	川崎市
大学院の位置	川崎市幸区小倉 4-30-1 川崎市川崎区駅前本町 11-2
大学の目的	地域包括ケアシステムをより実効性のあるものとしていくために必要となる看護職者、教育・研究者及び地域の中で地域包括ケアシステムの推進役となる者を育成していくことを目的とする。
研究科	看護学研究科看護学専攻
大学の定員	博士前期課程 1 学年 18 名（うち助産師コース 3 名） 博士後期課程 1 学年 5 名

※ 川崎市立看護大学大学院の開学に向けては、今後、川崎市議会における条例の議決を要します。

別添資料 川崎市立看護大学大学院の概要

#### 【問合せ先】

川崎市健康福祉局市立看護大学事務局 関  
電話 044-587-3544

## 川崎市立看護大学大学院の概要

### 1 基本事項

名称	川崎市立看護大学大学院 看護学研究科看護学専攻		
開設年月	令和7(2025)年4月(予定)		
目的	地域包括ケアシステムをより実効性のあるものとしていくために必要となる看護職者、教育・研究者及び地域の中で地域包括ケアシステムの推進役となる者を育成します。		
修業年限及び定員	博士前期課程 2年、18人/年(うち3人は助産コース) 博士後期課程 3年、5人/年		
学位	修士(看護学)、博士(看護学)		
収容定員	51人	専任教員の数	33人

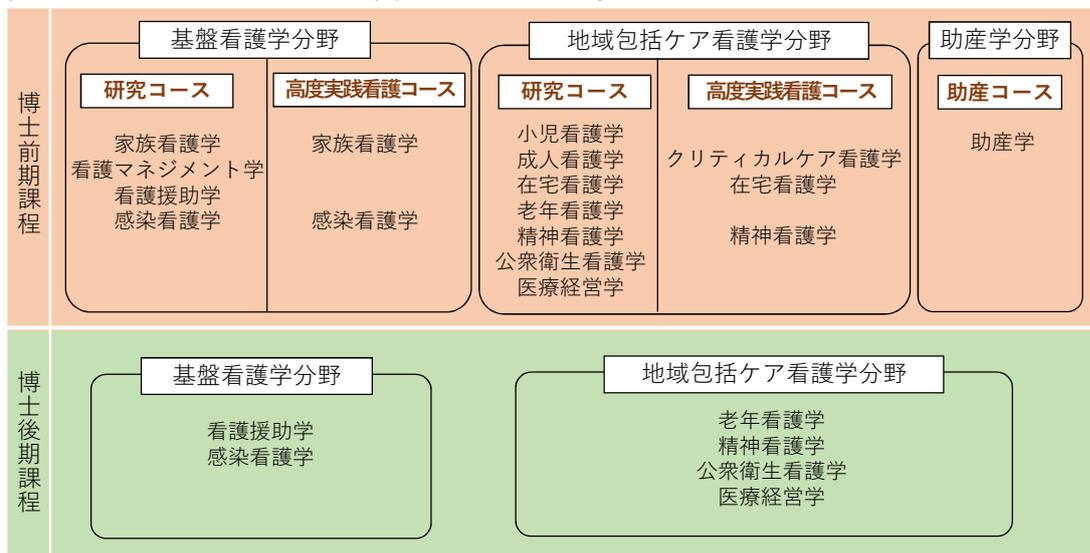
### 2 設置の趣旨及び必要性(要旨)

今後、より一層、保健・医療・介護・社会福祉サービスのニーズが増加、変化、複雑化していくことが見込まれる中、看護職が個人としてより高い専門性を発揮するとともに、看護の質の向上に向け地域を牽引していく必要があります。また、看護学そのものを発展させ、より質の高い効率的な看護を目指すための人材、幅広い見識のもと地域包括ケアシステムを推進する人材が必要となっています。

そのため、大学院では、保健医療福祉に関わる課題を科学的に解決する能力を有する教育・研究者、所属する施設等において地域包括ケアシステムの推進役となる人材、高度な専門性と実践力を有する看護職、及びライフサイクル全般で女性の性と生殖に関わる健康を支援する人材を養成し、地域包括ケアシステムをより実効性のあるものとしていくことでその役割を果たし、地域社会における健康と福祉の向上並びに看護学の発展に寄与することを使命とすることとします。

### 3 教育課程・コース等

博士前期課程と博士後期課程を開設するとともに、博士前期課程には3つのコースを設置します。また、平日夜間帯や土曜日などを活用した授業(講義、演習等)を組み込むことで、社会人が働きながら通える環境を整備します。



高度実践看護コースでは、専門看護師(日本看護協会認定)の受験資格を得るための教育を行います。

## 4 大学院施設

大学院の開設に合わせて、地域で活躍する社会人が働きながら通えるよう川崎駅前に第2キャンパスを整備します。

この第2校舎には、博士前期課程の「研究コース」と「高度実践看護コース」、及び博士後期課程の学生が通い、博士前期課程の「助産コース」の学生は、原則\*として既存校舎（第1キャンパス）に通うことになります。

\*共通科目などは第2校舎で受講することになります。

### 第2キャンパス

博士前期課程（研究コース、高度実践看護コース）・博士後期課程

#### 【川崎フロンティアビル10階】

所在地

川崎市川崎区駅前本町11番地2

最寄り駅

J R川崎駅・京急川崎駅

(いずれも徒歩3分)



### 第1キャンパス

博士前期課程（助産コース）

#### 【川崎市立看護大学】

所在地

川崎市幸区小倉4丁目30番地1

最寄り駅

J R川崎駅よりバスで約10分

J R矢向駅（南武線）より

徒歩約15分

